

港区立芝浦小学校
平成30年度 授業改善推進プラン

教育目標

○心もからだも強い子 ◎すすんで勉強する子 ○友だちと協力する子

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

☆正しい言語環境、美しい学習環境、優しい人間関係づくりを通して、豊かな心の育成と確かな学力の定着を目指す。
 ☆「協働的に問題解決ができる子供を育てる」ための指導法を工夫し、実践と授業評価を積み重ねることで、授業力の向上に努める。
 ☆一人ひとりのキャリア形成と自己肯定感の向上を目指す「リーダー・イン・ミー」の校内研究を通して、授業改善と学力の向上を図る。
 ☆朝学習、各種朝会・集会、始業前の時間を有効活用し、1日の生活リズムや学習意欲を向上させるとともに、保護者・地域、企業と連携した特色ある教育活動を継承する。

昨年度の成果と課題

☆学習のめあてや課題を明確にすることで、主体的に取り組もうとする姿勢が育ってきた。その一方で、互いの考えや表現の良さを認め合い、学び合う姿勢には未だ課題がある。
 ☆どの教科でもICTを活用した学習について指導法を工夫することが、児童の意欲へとつながった。その一方で、複数の資料から必要な情報を選んで読み取り、考察し、表現する力に課題が残った。
 ○学力調査結果等で明らかになった習熟度の低い既習事項について、東京ベーシックドリル等を活用して復習に努めたことが学力の定着につながった。漢字や語彙等の基礎的・基本的な内容については、朝学習を活用して定着を図ることができた。引き続き大きな課題である個人差に対応するために、家庭学習も含めてさらなる指導の工夫が必要である。
 ▲児童集会や異学年交流に意欲的に取り組んだが、児童数の増加に伴って、活動時間と場所を十分に確保することが難しくなったので、活動内容についての工夫がさらに必要である。
 ○地域の人材及び外部指導員による多彩な体験学習が児童の興味関心を高め、授業内容を深めている。今後は、各教科・領域において、問題解決型学習の中で、協働的な学びをどう実現するか、指導法の工夫を行う必要がある。
 ▲「リーダー・イン・ミー」で学んだことを、全教育活動の中で生かす場をつくることが今後の課題である。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○学力向上を目指して、授業時数を確保し、基礎的・基本的な学力の定着を図るための時間を有効活用する。 ○読書習慣を身に付け、言語活動の充実を図るために読書活動を取り入れる。 ▲体力向上や異学年交流の充実を図るために、活動内容を工夫する。	☆個に応じた指導の充実とともに、互いの考えや表現の良さから学ぶ力の育成を図る。 ☆ICTを活用した指導を充実させ、情報の取捨選択力、思考力を伸ばす。 ☆地域支援コーディネーターを活用し、地域の人材を生かした体験的学習を開発する。問題解決型学習を通して、協働的な学びを実現する。	○研究授業や毎月のOJTにおける教員相互の評価、及び各学習状況調査における児童の意識調査の分析結果を踏まえて、授業改善や授業力の向上に努める。 ▲学校関係者、保護者による評価、学校の自己評価の結果から課題を明確にし、改善する。 ○各教科において、形成的評価をもとに授業を工夫・改善し、個に応じた指導に生かす。	☆国語科、特別活動を中心に、「リーダー・イン・ミー」カリキュラムの実践を目指す。 ○港南アカデミー（芝浦幼稚園、港南中学校、港南小学校、港南幼稚園）において、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業研究に取り組む。 ○OJTにおける校内研修及び研究授業等を通して授業力向上を図る。	○保護者や地域、企業と連携を図り、授業や課外活動の場で、児童の興味関心を高める体験的な学習を行う。 ○土曜授業日等に教育活動を公開し、保護者や地域に理解と協力を求める。 ○安全教育や救出・救助訓練を地域と共に行い安全についての意識を高める。

具体的な取組

○土曜日を4時間授業とし、授業時数を確保する。また1回15分×週3回、年25時間の朝学習を学習課程に位置付け、基礎的・基本的内容の定着を図る。 ○学期ごとに、読書週間の設定、ボランティアや図書委員による読み聞かせ等の取り組みを行う。 ☆各朝会・集会、縦割り班活動の内容や時間、場所を工夫し、確保する。	☆個々の考えや表現の良さを価値付け、生かした授業展開の工夫を行うことで、互いの良さから学び合う姿勢を育てる。 ☆めあてや目的に則してICTを活用し、情報を読み取り、考察し、表現する学習を行う。 ○運河・米づくり・読み聞かせ・自動車製造・なぎなた・サッカー・キャリア教育・国際理解教育などで地域の人材や外部講師を招聘し、豊かな体験学習を実現する。	○研究授業やOJT等において教員同士の授業評価を行うとともに、児童へのアンケートを基に自己の授業改善や授業力の向上を図る。 ○外部評価と自己評価によって明確にされた課題について、対策を講じ、早急に改善する。またその結果を分かりやすく公表する。 ○ノート評価のコメントによる励ましや、価値付けを丁寧に行うことで児童の学習状況を見取り、個に応じた指導を行う。	☆「リーダー・イン・ミー」における7つの習慣を、全教育活動において実践するよう意識付ける。自己肯定感を高め、主体的に学び行動する児童を育成する。 ○毎月「OJTの日」を設け、主幹・主任教諭が担当する4年目までの若手教員に、授業や生活指導、学級経営等について助言・指導を行う。 ○港南アカデミーにおいて「主体的・対話的で深い学び」をテーマに、幼・小中一貫教育の在り方について検討する。	○夏休み中に「夏講座」を開き、NPO諸団体、企業、保護者や地域の協力を得て、児童の興味関心に応じた体験活動を行う。 ○土曜授業日を4時間授業とし、学んだことを発表する場や、道徳授業地区公開講座など保護者や地域が参観できるような場を設定する。 ○地域と連携して総合防災訓練を行うため、日曜登校日を設ける。
--	--	---	---	---

☆→今年度からの取組

○→定着・継続している取組

▲→活性化が必要な取組